

製品名: FKHR (リン酸化Ser249) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab05739**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	72kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXO1
別名	Forkhead box protein O1 (Forkhead box protein O1A) (Forkhead in rhabdomyosarcoma)
遺伝子 ID	2308.0
SwissProt ID	Q12778
免疫原	ヒト FKHR 由来の合成ペプチド（リン酸化Ser249）

背景

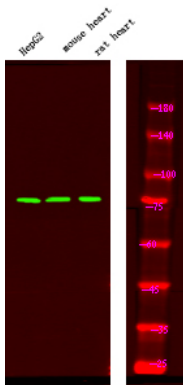
疾患: FOXO1に関連する染色体異常は、横紋筋肉腫 2 (RMS2) [MIM:268220]の原因であり、胞巣型横紋筋肉腫としても知られる。PAX3 との転座 (2;13) (q35;q14)、PAX7 との転座 (1;13) (p36;q14)。結果として生じるタンパク質は転写活性化因子である。

る。機能: 転写因子。PTM: AKT1によってリン酸化される。インスリン誘導性(類似性による)。IGF1はSer-256、Thr-24、およびSer-319のリン酸化を速やかに誘導する。Ser-256のリン酸化はDNA結合活性を低下させ、Thr-24およびSer-319のリン酸化を促進し、おそらくCK1によってSer-322およびSer-325のリン酸化を誘導し、核からの排除と機能喪失につながる。Ser-329のリン酸化はIGF1とは独立しており、機能低下につながる。DNA損傷時にリン酸化されるが、おそらくATMまたはATRによるものと考えられる。類似性: フォークヘッドDNA結合ドメインを1つ含む。細胞内局在: 細胞質と核の間を往復する。サブユニット: LRPPRCと相互作用する。組織特異性: 普遍的。、

研究分野

シグナル伝達

画像データ



HepG2 マウス脳組織およびラット脳組織のウェスタンブロット解析。一次抗体は1:1000希釈で4℃、一晚。二次抗体は1:10000希釈で25℃、1.5時間。